

自己点検・評価シート

沖縄ビジネス外語学院

実施日： 令和5年3月24日

責任者： 学院長 奥戸 類

令和5年3月24日（金）、校長、事務局長および外部からの評価委員2名による自己点検・評価を実施した。

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

1. 教育理念・目的等			評価
1	1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	5
2	1-2	教育理念が学生に提示され周知されているか	5
3	1-3	学校の将来構想を抱いているか	5
4	1-4	理念に基づく教育が行われているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

引き続き産学融合の精神を生かし、自主性・創造性を養い、知識・技能を高め、礼儀を重んじる教育の推進に努めることが重要である。各教室へ教育理念の掲示を実施。

<課題>

社会のニーズの変化や、将来を想定した理念・目的の検証を、継続して行う。

2. 学校運営			評価
5	2-1	運営方針は定められているか	5
6	2-2	事業計画は定められているか	5
7	2-3	運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	4
8	2-4	人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
9	2-5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
10	2-6	学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	5
11	2-7	危機管理体制、コンプライアンス体制は整備されているか	4
12	2-8	情報公開が適切にされているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

本年度も、外部委員による客観的評価制度を実施し、学校webへの結果公開もおこなわれている。また、情報システムではDX（学生総合管理システム）を活用し運営している。

<課題>

引き続き運営組織の意思決定を効率的に行うことが重要。危機管理体制、コンプライアンスもその都度点検し整備することも重要である。

3. 教育活動			評価
13	3-1	カリキュラムは教育理念にそって体系的に編成されているか	5
14	3-2	授業評価や進級、修了の判定実施・評価体制は明確であるか	5
15	3-3	目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	5
16	3-4	成績評価は適切に行われているか	5
17	3-5	資格取得等について計画的にカリキュラム策定や指導体制が確立されているか	5
18	3-6	キャリア教育に関する指導体制は整っているか	5
19	3-7	教員の育成計画は十分か	4
20	3-8	専門分野の知識習得や指導力向上のため、研修等への取り組みはされているか	4
21	3-9	非常勤講師との指導力連携や、報告体制は十分であるか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

引き続き社会・時代の変化に対応できる特色あるカリキュラムの編成・組織・体制づくりを強化し、職員研修の深化に努めた。今年度も継続して教員の育成計画、研修等への取り組みを実施していく。

<課題>

非常勤講師との指導力連携、報告体制については、全体の職員会議だけではなく、個別の打ち合わせも含めて実施、浸透を図っていく。

4. 学修成果			評価
18	4-1	就職指導は十分におこなわれ、進路について適切に把握しているか	5
19	4-2	資格取得について目標を立て実践されているか	5
20	4-3	退学者や不登校者に対する取り組みがされているか	4
21	4-4	パンフレットやホームページ等で就職実績を公表しているか	5
22	4-5	就職率に目標を設定しているか。	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

- ・各種検定等の養成・促進を図り、各学年終了するまでに指定の検定に合格できるように努める。
- ・個々の学生の学習活動を保証し、中途退学者をなくするように開発的・予防的なカウンセリング活動行い、事前防止に努める。
- ・令和4年度の就職率は96.4%であった。

<課題>

就職について、求人は回復傾向にあるが、引き続き職員全員が一丸となって学生全員の就職について支援を行うことが優先課題である。特に留学生の就職については、まだ十分ではない。

5. 学生支援			評価
21	5-1	進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
22	5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
23	5-3	学生の心身の健康管理・事故・怪我に対する支援体制があり、有効に機能しているか	4
24	5-4	学生の生活環境（学生寮含む）への支援は行われているか	4

25	5-5	防災や緊急時における体制が整備され、有効に機能しているか	4
26	5-6	卒業生への支援体制はあるか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

日本人学生だけではなく、留学生も含めて進路・就職指導に配慮してきた。学生寮については、緊急時も含め連絡網が整備できている。新年度も卒業生からも企業の情報を習得し、在学生の就職・進学先の支援に取り組む。

<課題>

卒業生の状況調査（就職先、在職状況等）については、連絡がまだ十分とは言えず、本年度も引き続き取り組みを強化する必要がある。

6. 教育環境			評価
27	6-1	学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	5
28	6-2	学校で使用する教材は適切か	4
29	6-3	学習効率を図るための環境整備がなされているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

継続して細かい設備の点検を行い、必要な施設環境・設備について補修や購入配置を行っている。今年度も劣化や古くなった設備・備品はもちろん、教室の内装工事を行い、清潔で真新しい感じをだすことができた。

<課題>

新年度も引き続き施設・設備の改修や整備を継続する。

7. 入学者の募集			評価
30	7-1	学生の受入方針は定められているか	5
31	7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	5
32	7-3	学生募集活動において、学校情報は正確に伝えられているか	4
33	7-4	入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか	5
34	7-5	適正な定員設定及び在籍者数になっているか	4
35	7-6	授業料は適切か	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

継続して学校情報や入学選考に係る情報を、特に高等学校の進路部や進路担当の教職員に丁寧に説明している。学校の学習内容や学校活動を、より詳しく説明するよう努めている。

受領料や検定費用、また実費等についても、わかりやすい説明と募集要項等のへわかりやすい記載に努めていく。

<課題>

在籍者数については、コロナの影響により入学者が減ったので、募集回復が大きな課題である。

8. 財務			評価
35	8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
36	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
37	8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	5
38	8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

財務基盤を継続して改善し、安定した経営環境づくりに努める。

<課題>

引き続き、安定した財務基盤としていくために、適正な予算・収支計画が必要となる。

9. 法令遵守			評価
39	9-1	我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
40	9-2	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
41	9-3	個人情報に関し、その保護のための対策がとられている	4
42	9-4	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に務めているか	4
43	9-5	自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
44	9-6	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

法令および専門学校の設置基準の遵守に努めている。また、自己点検・自己評価の実施を行い、ホームページ上に公表している。

引き続き外部人材による点検・評価を継続して行い、法令、設置基準に沿った運営に努める。

<課題>

問題点の洗い出しを迅速に行うこと。

10. 地域貢献・社会貢献			評価
45	10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3
46	10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

昨年度も、新型コロナウイルスの影響が大きく、地域のイベントやボランティア活動等の機会が失われた。学校周辺を含めた清掃活動は継続している。引き続き地域活動が再開された後の具体的な取り組みや、活動への参加を検討している。

<課題>

11. 組織について

評価

47	11-1	設置者、経営担当者は定められた要件に適合しているか	5
48	11-2	教員組織について、校長、教務主任及び教職員の職務内容と責任は明確であるか	5
49	11-3	教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質は明示されているか	4
50	11-4	事務組織について生活指導責任者や、入管事務担当者が定められ責任が明確であるか（留学生を含む）	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

教員組織、事務組織ともに職務内容を明確にし精度と効率を上げ、教育目標の達成への不断の努力を継続している。

<課題>

各専門分野における教職員の知識や能力の向上に努め、各教員・職員の職務内容と責任の明確化も継続して取り組んでいくことが重要。

12. 安全管理・危機管理について

評価

51	12-1	健康・衛生面について指導體制が整っている	5
52	12-2	学生全員が国民健康保険に加入し、留学生保険にも加入しているか（留学生）	5
53	12-3	学生が重篤な疾病や障害にあった場合の対応方法を準備している。	4
54	12-4	感染症発生時の対応方法を整えている	4
55	12-5	火災、地震、台風や気象警報等の災害時の対処方法を定めている。	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

災害に備えた緊急体制を整えているが、新年度も点検・確認を継続することが求められる。留学生も含めて、事故や病院加療、入院等の情報が、学校教職員が連携して把握できる体制を構築している。

台風や災害時の登校規定を定め、その都度点検している。

また、救急救命等の職員研修も継続して行っている。

<課題>

13. 成績・進級・卒業判定について			評価
56	13-1	成績の判定基準が明確に定められている	5
57	13-2	成績の判定基準を学生に明示している	5
58	13-3	進級および卒業判定が適切におこなわれているか	5
59	13-4	留学試験、日本語能力試験等の結果を把握しているか（留学生）	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

成績の判定基準は、入学式のオリエンテーションをはじめ父母面談等でも適宜説明がなされている。進級および卒業判定についても、3者面談等をとおして丁寧に説明等をしたうえで適切におこなわれている。

<課題>

進級および卒業の成績基準を満たすために、学生成績状況を常に監視し、必要な学生には早期の段階から十分な指導を行うこと。

14. 納付金について			評価
60	14-1	入学検定料、入学金、授業料等の納付金について金額・納付時期を明示している	5
61	14-2	学費以外の必要となる経費を明示している	5
62	14-3	学費返還については、関係法令等に基づいて規定され明示している	4
63	14-4	上記の項目について、学生の理解できる言語で説明および情報を提供している	4

<現状・具体的な取り組み/課題>

<学校関係者評価>

募集要項により入学検定料、入学金、授業料の額および納付次期の明記を確認。学費以外のテキスト・教材費および諸検定費等の明記を確認。学費返還についても、関係法令等に基づき、更に丁寧に募集要項へ明記しかつオリエンテーションでの説明にも取り組んでいる。

<課題>

納付金に関する資料等は毎年点検し、明示と丁寧な説明に取り組むことが必要。